暮らしによりそうアロマセラピー

りんせん通信

4
2023

発行：アロマセラピールーム林泉 http://rinsen-aroma.com

2023年4月7日発行（通巻第146号）

～香りと一緒におうち時間（11）～

卵の香り玉・エッグポマンダーを庭のハーブで作りました

復活祭にちなんで、エッグポマンダーを作る

エッグポマンダーは、殻のなかにハーブを仕込み、香りを楽しむアイテムです。卵は生命の象徴とされ、復活祭では大切なモチーフとなります。

復活祭は、イエス・キリストの復活を記念する祝祭日で、今年は4月9日になります。

まずは、卵に穴を開ける

殻をつつき、直径3～4cmの穴を開けたら、卵の中身を出して空っぽにします。穴の縁は最終的に隠れるので、ちょっとガタガタでも大丈夫です。

そのままだと卵のにおいが残っていたので、洗剤を薄めた水に浸して洗いました。

香りのハーブをつめる

卵の内側が乾いたら、香りのハーブをつめます。わたしは、去年収穫したラベンダーの花と、ゼラニウムの葉を入れました。どちらも半年以上かけて乾燥しましたが、いまだによく香ります。二種類を組み合わせたことで、香りに奥行きが出ました。

縁を飾って、できあがり

卵の容量の80％くらいハーブをつめたら、オーガンジーで穴をふさぎ、周囲をボンドで止めます。

穴のまわりは、先月咲いたミモザで飾ることにしました。3～5cmの小枝に切り分け、縁にそってグルーガンで貼っていきます。ぐるりと囲んだら完成です。

振って、香りを楽しむ

エッグポマンダーはそのままでは香りませんが、振るとハーブに傷がつき、芳香成分が広がります。

もし、ハーブが手に入らない場合は、市販のポプリや料理用のスパイスで試してみてください。精油をコットンに染み込ませたものでも代用できます。

おすすめアロマグッズ No.114

モミ・バスミルク
（ヴェレダ）

染みとおるような木の香の入浴剤。お湯に溶かすと、ほんのり白くにごります。すべての成分が天然で、オーガニック認証を得ているそうです。

香りは針葉樹独特の爽やかさで、心も身体も深く鎮静できました。穏やかながら香りの持ちもよく、お風呂場のドアを開けておくと、入浴後しばらく漂っています。

林泉サイトもご覧ください

『りんせん通信』既刊号ほか、アロマレシピやサロン情報を多数掲載しています。

編集後記

エッグポマンダーの縁飾りには、ご近所さんにいただいたミモザを使いました。庭の木が、花をたくさん咲かせたそうです。

ミモザはラベンダーなどに比べるとさほど香りませんが、花の黄色が見事で、ドライにしても鮮やかです。ひと月経った今も、その明るさは変わりません。

大きくなる木は世話が大変だから庭に植えるのは控えていますが、ミモザだけは例外にしようかなと心揺れるこの頃です。